

農業・農村は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民が享受しています。しかしながら、近年の農村地域の過疎化、少子高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されています。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しています。

なお、白川北地域では、この多面的機能交付金という補助金を活用して「白川北地区環境保全ネットワーク」を組織し農用地の保全管理等の活動をしています。その構成員は各自治会や営農組合など地域の皆様であり地域の要望事項を集約し活動を行っています。

令和6年度の主な活動内容



計画策定・研修・会議等



事業計画策定会議



安全管理研修会



役員会議（事業進捗状況報告）

点検・機能診断



獣害防止柵の点検（野原）



水路の点検・機能診断（新津）



農道の点検・機能診断（小川）

実践活動（農用地）



有害鳥獣対策防護ネット点検（宇津尾）



農道の草刈り・清掃（油井）



農用地周辺花壇の整備（野原）

実践活動 水路（パイプライン）・農道



給水バルブの修繕（野原地内）



水路の草刈り（新津地内）



農道の草刈り（小川地内）



水路の泥上げ清掃作業（広島地内）



農道周辺の清掃作業（大利地内）



農道の草刈り（葛牧地内）

施設の長寿命化 施設維持工事



農道舗装工事（小川地内）



給水バルブ更新工事（野原地内）

白川北地区の話題

地域の農業と生物多様性を考える講演会を開催しました

◎2月16日（日）にふれあいセンターにて、地域の農業と生物多様性を考える講演会を開催しました。

当日は岐阜県庁 農村振興課 西尾様、美濃加茂自然史研究会 安藤様、岐阜大学地科学部教授 向井様を講師としてお招きし講演をいただきました。講演の内容は、「多面的機能の維持・発揮のための取り組み」や「白川町の植物」「飛騨川の自然とオオサンショウウオ」と題して農業用施設の維持管理の大切さや自然環境を守ることの大切さ、飛騨川流域を主としたオオサンショウウオの生息状況の変化などたいへん興味深いお話しをしていただき、参加していただいた皆様からは大変好評をいただきました。今後も地域の方が参加できるような講演会など企画してまいりますので是非ご参加ください。



◎農地や水は地域の大切な財産です。近年の過疎化や少子高齢化等の進行により農地や地域の自然環境を守っていくことが難しくなっています。今後も地域の農地や景観を守るため自治協議会、自治会、営農組合などお互いが協力して地域の道路、河川等の草刈り、清掃作業、農業施設の点検、維持補修などの活動が必要になりますので、提案等があれば是非事務局までご連絡ください。今後の活動計画づくりの参考とさせていただきます。

令和7年3月発行
事務局 白川北ふれあいセンター内
TEL 0574-75-2878